

3. 授業のねらい

3 - 1 提案者の授業のねらい

現代社会のインフラとしてのインターネットの存在はますます重要性を増しているのが現状である。しかしながら、コンピュータウイルスやフィッシング詐欺に代表されるような、安全・安心なネット社会への脅威は拡大しており、情報セキュリティの重要性が叫ばれている。

この授業では、ネットワークセキュリティの現状を正しく認識するとともに、ファイアーウォールに代表される脅威への対応策について、具体的に実習を通して理解を深めることを目的とする。

3 - 2 学校側の授業のねらい

教科名	情報 A
単元名と 本時の位 置付け	情報機器の発達と生活の変化 情報社会への参加と情報技術の活用
単元のね らいと目 標	関心・意欲・態度 身近になったインターネットの仕組みについて、関心を持ち、積極的に学習しようという意識を持たせる。 思考・判断 単なる利用者としての受身な形ではなく、インターネットの仕組みに考えを及ぼすことにより、思考力を高め、判断できるようになる。 技術・表現 現在インターネットで重要となっているパケットフィルタリングの技術を身につけると同時に、自分の考えをどう設定に表現するかを学ぶ。 知識・理解 ネットワークに関する知識を得、情報セキュリティに関する最新の技術を理解する。
本時のね らいと目 標	・情報学習に対する学習意欲の向上 ・インターネットの仕組みと最新技術の理解 ・情報セキュリティの重要性の認識

3 - 3 ねらいの差異による変更事項

特になし